

## I. 事業の概要

本学会は、応用物理学及び関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及に関する事業を行い、もって社会の発展に寄与することを目的とする。2018年度は、下記の3公益事業を中心に活動を展開し、高い公益性を実現するための施策を実施する。

(公益事業1) 学術講演会、研究発表会、講習会等の開催及び人材育成、教育事業

(公益事業2) 機関誌、論文誌、図書の刊行及び調査研究事業

(公益事業3) 表彰、コンクール等の事業

**公益事業1**：学術講演会は、春季を早稲田大学西早稲田キャンパスにおいて、秋季を名古屋国際会議場において開催し、融合分野や新分野などを含めた多様な角度からの研究発表、ディスカッションを促進する場の提供を行い、我が国の学術・産業の発展と教育の充実に寄与する。また、本会主催の国際会議や海外機関との連携によるシンポジウム等の開催を通じて国際化を積極的に進める。

人材育成・教育では、男女共同参画の推進に取り組むとともに、理科教育に技術の視点を導入する啓発活動を行う。学術社会連携活動として、学術会議、関連学協会・機関との連携を深め、新分野の創出や新たな会員サービスに繋がる協力体制の構築を図る。

**公益事業2**：機関誌、論文誌等については、「応用物理」、「JJAP」、「APEX」及び分科会誌、研究会誌等を刊行し、さらなる内容の充実と編集体制の強化を推進する。機関誌「応用物理」では、基礎から先端科学までタイムリーな情報の提供、電子化事業の推進等を行う。論文誌「JJAP」、「APEX」は、国際競争力の強化を目指し、企画・編集活動の一層の充実化を図る。

**公益事業3**：本会の目的達成のために必要な事業として、各種表彰事業を実施する。

このほか、管理業務として、社員総会、理事会、諸会議を開催するとともに、基金による事業を管理・運営する。また、2017年度竣工した本学会所有事務所を基盤として継続的かつ安定した公益事業を行う。

### 1. 学術講演会、研究発表会、講習会等の開催及び人材育成、教育事業（公益事業1）

#### 学術講演会企画・運営事業

- ①応用物理学のカバーする既存分野における多様な角度からの研究発表・ディスカッションの場を提供
- ②会員ニーズに応じた融合分野・新分野をタイムリーにキャッチアップ
- ③これらに関係した新規トピックスをテーマとしたシンポジウム、合同セッションを企画
- ④会員サービスとして、より良い発表・参加の環境を提供して、我が国の学術、教育、産業に寄与
- ⑤国際化に向けた取り組みを戦略的に推進

#### 1) 春秋学術講演会の開催

- ①第65回応用物理学会春季学術講演会  
会期：3月17日(土)から20日(火)  
場所：早稲田大学西早稲田キャンパス（東京都新宿区）
- ②第79回応用物理学会秋季学術講演会  
会期：9月18日(火)から21日(金)  
場所：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）

#### 2) 新規事業

- ①参加者の満足度の高い講演会場の選定方針の確立

#### 3) 事業運営

- ①会員システムを使用した参加予約
- ②バイリンガル化の推進
- ③スマホ、タブレット等によるインフォメーションサービスの充実
- ④春秋学術講演会プログラム企画・編成
- ⑤委員会
- ⑥表彰（講演奨励賞、Poster Award、フォトイラストコンテスト）
- ⑦講演会関連企画の見直し

- ⑧海外協定学協会（OSA等）とのジョイントシンポジウムの開催への対応と連携
- ⑨国際化に伴うWebサイト・予稿集（DVD・ガイドブック・アプリ）のバイリンガル化
- ⑩海外からの講演者（招待講演者及び学生講演者）への旅費サポート
- ⑪国内招待講演者への旅費補助の見直しと、英語セッション企画・実施に対する補助
- ⑫大分類・中分類の再編と弾力化

#### 4) 講演奨励賞

講演奨励賞受賞記念講演を実施

### 会員サービス事業

会員サービス委員会開催：5回

#### 1) 会員相互のネットワーク構築のためのプラットフォームの提供

- ①スチューデントチャプター，若手チャプター，インダストリアルチャプター，JIMeCの支援及び連携推進
- ②「キャリア相談会」をはじめとする若手会員向け企画のマネジメント
- ③インダストリアルチャプター，講演会企画・運営委員会との連携による新領域の開拓推進

### 国際学術交流事業

海外機関との連携による下記の事業など，本会の国際化に向けた活動を立案・実施。

#### 1) 海外学会とのジョイントシンポジウム開催

#### 2) 春季・秋季学術講演会での海外研究者交流会(President's Reception for Overseas Participants)の実施

#### 3) Association of Asia Pacific Physical Societies(AAPPS)の活動（AAPPS Bulletinへの編集協力）

#### 4) JSAP International Member's Chapterの活動支援

#### 5) IOP Publishingとの連携の検討

#### 6) 海外学会との連携の検討，MOU締結

#### 7) 2018 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2018), 31st International Microprocesses and Nanotechnology Conference (MNC2018), 10th International Symposium on Advanced Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials/11<sup>th</sup> International Conference on Plasma-Nano Technology & Science (ISPlasma2018/IC-PLANTS2018)の取りまとめ

#### 8) 分科会・研究会の国際的活動（国際会議開催等）の支援

### 学術・社会連携事業

学術会議，関連学協会・機関・団体との連携を深め，本会が取り組むべき新しい分野の創出や会員サービスに繋がる協力体制の構築を図る。

学術・社会連携委員会開催：1回

#### 1) 学術会議との連携

- ①総合工学委員会「未来社会と応用物理分科会」への協力
- ②理学・工学系学協会連絡協議会への協力

#### 2) 関連学協会・機関・団体との連携及び協力

- ①物理オリンピック日本委員会
- ②国際物理オリンピック日本大会組織委員会
- ③日本工学会
- ④文部科学省（NISTEP，土曜学習応援団）
- ⑤JST（CRDS，科学コミュニケーションセンターアドバイザー委員会）
- ⑥産業競争力懇談会（COCN）
- ⑦Association of Asia Pacific Physical Societies（AAPPS）
- ⑧日本技術者教育認定機構（JABEE）

## ⑨他関連学協会・機関・団体

### 広報事業

公益法人としての応用物理学会のアクティビティ活性化及びビジビリティの向上に向けた広報活動を実施する。特に、(1)現会員に対する広報<会員の満足度向上>、(2)新規会員の獲得のための広報<会員数の増加>、(3)研究会、分科会、講演会の参加者増加<学会内のアクティビティ活性化>を重点的に実施する。

- 1) 講演会会場の満足度調査
- 2) グローバルHP（海外向け学会HP）の構築
- 3) 展示会・国際会議などでの継続的広報活動（PVJapan2018, SEMICON JAPAN 2018, その他商業展示会の無料出展ブースなど）
- 4) facebook/twitter/LINE@/InstagramなどのSNSを使った情報発信の継続
- 5) 海外向け広報の拡充

### 男女共同参画事業

真に暮らしやすく個々が能力を発揮できる豊かな社会を実現するための一要素として、ワークライフバランスの推進を目指し、応用物理学会における男女共同参画の推進に取り組む。

- 1) ワークライフバランス実現のための本質的な議論、しくみを含めた学習の機会の設置、男女共同参画の諸課題に対する提言等を機関誌へ掲載
- 2) Network for Women and Men in Applied Physics (NEWMAP)を通じた女性研究者のネットワークの拡充への取り組みと定期的な会合の開催
- 3) 春季学術講演会での特別シンポジウムの継続開催
- 4) 理事・フェロー・代議員への女性の推薦と、女性研究者研究業績・人材育成賞（小舘香椎子賞）の普及推進を支援
- 5) 外部連携・国際連携に関する、学術・社会連携委員会や外部委員会との連携
  - ①女子中高生夏の学校への企画協力及び参加
  - ②男女共同参画学協会連絡会へのオブザーバーとしての参加
- 6) 年に数回男女共同参画委員会を実施、委員会内で男女共同参画に関わる勉強会（ミニセミナー）を企画

### 教育企画事業

学校教育における「物理ばなれ」による日本の科学技術やものづくりの長期的衰退を食い止めるべく、理科教育に技術の視点を導入する啓発活動を行う。

- 1) リフレッシュ理科教室及び関連科学啓発活動
  - ①各支部及び関東地域でリフレッシュ理科教室を実施
  - ②学術講演会の際、年1回、FDリフレッシュ理科教室を開催
  - ③そのほか、各省庁・自治体等との連携科学技術啓発活動等を実施
- 2) 教育企画委員会運営活動
  - ①年1~2回、活動検討のための委員会を開催

### 支部・分科会・研究会・新領域グループ

学術講演会、研究会等を実施する

### 学会全体として

- 1) 学術会議をはじめ、国内外の関係学術団体との連携及び協力
- 2) 関連学協会との連携による社会啓発活動推進
- 3) 日本工学会を通じて、工学系（一部理学系）学協会との情報交換・連携活動への参画

## 2. 機関誌, 論文誌, 図書の刊行及び調査研究事業 (公益事業 2)

### 機関誌企画・編集事業

応用物理に関する学術情報, 会員にとって有益な情報を提供する月刊機関誌『応用物理』の編集・発行. 基礎から先端科学まで, 未来が見える生きた情報のタイムリーな提供. 会員サービスという観点からの記事の刷新, 読者拡大 (会員増強) を目指した施策の実施, 国際化・グローバル戦略, 相互コミュニケーション型の情報発信, Web 版・電子書籍版などの電子化媒体, 編集作業の効率化などを推進する.

機関誌企画・編集委員会開催: 6 回

#### 1) 機関誌『応用物理』(第 87 巻) の概要

①年間 12 号 (A4 判, 総頁数 1,000 頁, 号平均 85 頁, 21,000 部, 毎月 10 日発行) の編集・発行, 毎月会員への配布

②年間 2 号の講演会プログラム掲載増刊 (A4 判, 総頁数 400 頁, 号平均 200 頁, 21,000 部, 3 月及び 8 月) の発行, 会員への配布

#### 2) 機動力・速報性の強化

①サイエンスライター・編集委員・外部記者などによる, 充実したタイムリーな記事の提供

②国内外の最新的话题をリサーチし記事化

#### 3) 会員サービスという観点からの記事の刷新

①読者層を絞った新企画の立案

②外部記者制度を活用した, 多様な情報収集の実施

③講演会, 論文誌, 支部・分科会, スチューデントチャプター, インダストリアルチャプター, NEWMAP, 会議・委員会などの関連記事強化

④電子書籍版の読読傾向及び日経 BP 社の Web 転載記事の PV などの分析による, 新たな企画の立案

#### 4) 読者拡大 (会員増強) を目指した施策の継続・強化

①日経 BP 社の Web メディア活用の推進

②基礎講座の書籍化準備

#### 5) 国際化, グローバル戦略の推進

①留学生のため英語 (翻訳) 記事掲載を継続・強化

#### 6) 相互コミュニケーション型の情報発信

①会員からのフィードバック欄の強化

#### 7) 電子化事業の推進

①Web 版・電子書籍版の普及推進

②Web 版の PDF 全文検索の実現

#### 8) 編集作業の高効率化

①編集委員会は原則隔月開催. ほかにメール審議, ビデオ会議システムを利用した, 意思決定プロセスの効率化推進

②編集委員を「解説記事 (論文) 担当」と「一般記事担当」とに分け, 企画編集作業の効率化を推進

③閲読は, 解説記事は担当編集委員, 一般記事は担当編集委員または編集部 (事務局) の責任で実施

④作業合理化のため, 投稿規程, 編集マニュアル, 執筆用フォーマットなどの見直しを継続

### 論文誌企画・編集事業

応用物理学分野における英文論文誌 APEX/JJAP の企画・編集. 編集体制を整備・強化し, 掲載論文の質を向上して国際競争力を向上することを目指す.

論文誌企画・編集委員会開催: 6 回

#### 1) 編集体制の強化

①専任編集長体制の継続及び編集長交代に伴う引継ぎ

②Advisory Editors による事前審査体制の継続

③企画・編集委員長, 副委員長 (2 名), 専任編集長 (正副), Advisory Editors の役割強化

## 2) 論文の質の向上

- ①編集委員全体会議や特集号編集委員会議の実施などによる編集プロセス、論文採択基準の共通化
- ②JJAP Selected Topics in Applied Physics (STAP) 企画の推進
- ③JJAP 特集号企画のヒアリング・審査を通じての選定
- ④JJAP 招待レビュー論文 (Invited Reviews) 企画の推進
- ⑤APEX 招待レビュー論文 (APEX Review) 企画の試行
- ⑥APEX から JJAP Rapid Communication (RC) へのトランスファーの実施
- ⑦APEX/JJAP 注目論文 (Spotlights) の推進
- ⑧掲載論文・引用文献の動向調査 (IOP Publishing と連携)
- ⑨APEX 掲載決定論文の英文添削の実施

## 3) 著者・読者に対するサービスの向上

- ①招待論文, STAP 論文, 特集号論文の無料公開
- ②APEX/JJAP 特筆論文 (Highlights) の選定と無料公開
- ③投稿・審査システムの刷新準備

## 4) その他

- ①MRS/APS など海外学会展示会への出展
- ②JJAP 特集号関連国際会議への出展
- ③APEX/JJAP 関連分野国際会議への出展
- ④表彰: APEX/JJAP 編集貢献賞
- ⑤「ジャーナル戦略WG」によるジャーナル事業の戦略検討

## 5) 発行予定

- ①JJAP: 年 12 号 (特集号企画 18 件)
- ②APEX: 年 12 号

## 分科会

分科会誌, 論文誌を発行する

## 3. 表彰, コンクール等の事業 (公益事業3)

応用物理学会業績賞, 研究分野業績賞, フェロー表彰, 論文賞, 講演奨励賞, APEX/JJAP 編集貢献賞, 支部表彰, 分科会表彰などの表彰事業を行う。

### 表彰事業

応用物理学の研究において優れた業績をあげた会員をより多く表彰する取り組みとして, 本会最高位の賞である応用物理学会業績賞をはじめ, 研究分野業績賞, フェロー表彰, 論文賞, 講演奨励賞, APEX/JJAP 編集貢献賞などの表彰事業を行う。

また, 各支部, 分科会等においても独自に支部表彰, 分科会表彰などの表彰事業を行う。

名誉会員, 功労会員も含めた本会の表彰事業全体の見直しの検討, 名誉会員候補者, 功労会員候補者, ほかの学術団体表彰への本会会員の推薦などを行う。

委員会組織 (委員会の必要性, 委員数) の見直しや, メール審議による委員会回数削減 (旅費削減), 定常的な事業経費の削減努力などにより, 年間経費の削減を図る。

- 1) 本会の表彰関係全体の方針に関する事項
- 2) 本会名誉会員候補者の選考に関する事項
- 3) 本会功労会員候補者の選考に関する事項
- 4) 本会以外の学術団体に対する本会会員の学術賞及び学術助成金受領候補の推薦に関する事項

## 4. 管理業務

### 理事会

定例理事会開催：8回

- 1) 本会の業務執行の決定
- 2) 理事の職務の執行の監督
- 3) 会長，副会長，常務理事の選定及び解職

### 戦略会議

戦略会議開催：8回

- 1) 学会の中長期的な運営方針の検討
- 2) 学会運営における課題の整理・検討
- 3) 学会の経営戦略の策定

### 総務会議

本会の事業活動内容の変化に対応して，関連する規程類を適宜見直して必要な改正や整備を行うことにより，安定した事業運営を推進する。また，会長を補佐して公益法人としてのガバナンスを維持するとともに，本会事務局と連携して総会等の学会運営全般に関わる処務を遂行する。

総務会議開催：6回

- 1) 規程類の改正・整備
- 2) 他団体からの共催・協賛・後援に関する事項
- 3) 本会が外部機関と締結する契約書のチェック
- 4) 学会運営のリスク対応
- 5) 総会運営関連等の処務
- 6) 事業計画書・事業報告書の総括取りまとめ

### 財務会議

学会を活性化するための中長期的な財務戦略を立て，活力ある事業活動とそれを支える安定した財政基盤の確立を目指す。また，公益法人として社会的責任を今まで以上に果たすことができる効率的な経理体制を整え，学会のガバナンスを高める。

財務会議開催：5回

- 1) 学会運営に関わる下記財務・経理業務の遂行
  - ① 予算策定及び管理・決算（月次・年次）の取りまとめ
  - ② 応用物理学会全体の財務戦略
  - ③ 研究活性化支援金等補助金等の審査
  - ④ 公益法人を維持（公益法人認定基準を満たす学会運営及び内閣府公益認定等委員会への報告）
  - ⑤ 戦略会議への協力
- 2) 応用物理学会の税額控除対象法人化認定への作業に協力

### 会員・事務局会議

会員・事務局会議開催：2回

- 1) 会員管理

会員サービスの充実のために会員動向管理・分析を行う。会員の入退会・会費徴収・会員種別など会員に関わるすべての事項の戦略的な方針を立てる。また，会員サービスシステムを安定的に運用する。

- ① 会員の入退会・情報管理・分析，会員動静報告
- ② 会費請求・決済業務の効率化と安定運用
- ③ 請求書フォーマットの刷新による，会費振込の利便性向上及び経費削減
- ④ 会員サービスシステム保守対応

## 2) 事務局運営

事務局運営に関する戦略立案・遂行と職員の人材育成マネジメントを実施する。

- ①学会運営戦略に沿った事務局体制の最適化
- ②役員面談による職員の業務実態把握と信頼感の醸成
- ③自己啓発支援：管理者研修，各種研修，資格取得等
- ④職員表彰によるモチベーションの向上
- ⑤新事務局長への業務引継ぎ

## 会員サービス事業

### 1) 会員サービスの拡充と新展開に伴う会員動向管理

- ①現アンケート集計システムを利用した新会員サービスの需要調査

### 2) 寄附制度の運用

- ①税額控除対象法人化に向けた寄付活動の戦略的推進
- ②対象事業の募集及び審査と活動支援

## 基金による事業

「応用物理学学会将来基金」，「応用物理学学術・教育奨励基金」，「高野榮一光科学基金」など，学会活動の活性化に資する。

## II. 処務の概要

1. 定時総会 1 回，定例理事会 8 回，戦略会議 8 回，代議員会議 1 回及びそのほかの会合を開催
2. 第 58 期役員候補者選挙を実施
3. 第 58 期代議員選挙を実施

## III. 支部・分科会・研究会・新領域グループの活動状況

### 支部講演会，研究会等実施予定回数

支部名称	国際会議	講演会	研究会	技術者育成	教育啓発活動	運営関連
北海道支部		1	13		5	9
東北支部		1	5		14	4
東海支部		1	9	1	11	6
北陸・信越支部		2	5	1	2	9
関西支部		3	13	1		7
中国四国支部		1	12	1	5	4
九州支部	1	1	10	2	3	10

### 分科会講演会，研究会等実施予定回数

分科会名称	国際会議	講演会	スクール	研究会・講習会	シンポジウム	教育啓発活動	常任幹事会	幹事会
フォトンクス分科会				2	3			4
放射線分科会			1	4	2			2
応用電子物性分科会				5	1			2
薄膜・表面物理分科会	2			4	2		5	6
結晶工学分科会			1	3	1	1		7
応用物理教育分科会					3	6	2	3
超伝導分科会				2	1	1		4
有機分子・バイオエレクトロニクス分科会				4	6	2	4	2
プラズマエレクトロニクス分科会				9	2			3
シリコンテクノロジー分科会	2			32	3			2
先進パワー半導体分科会		1	1	3	1			3
次世代リソグラフィ技術研究会				3	1			5

研究会, 新領域グループ講演会, 研究会等実施予定回数

研究会・新領域グループ名称	国際会議	講演会	シンポジウム	研究会	技術者育成	教育啓発活動	幹事(委員)会
量子エレクトロニクス研究会				3			2
多元系化合物・太陽電池研究会		1	2		1		3
光波センシング技術研究会			1	2			2
スピントロニクス研究会			2	1	1		2
シリサイド系半導体と関連物質研究会				2	1		3
テラヘルツ電磁波技術研究会			1	1		1	3
ナノインプリント技術研究会			1	3			3
エネルギーシステム研究会			1	2			3
有機ナノ界面制御素子研究会			1	2			2
励起ナノプロセス研究会				1			1
集積化MEMS技術研究会		1	2	2			2
埋もれた界面のX線・中性子解析研究会			1	4		1	1
界面ナノ電子化学研究会		1	1	2	1		4
磁気科学研究会			1	2			2
産学協働研究会				2			2
極限ナノ造形・構造物性研究会			1	3			3
微小光学研究会	1		2	4		2	10
機能性酸化物研究会			2	1	1		3
新領域グループ	1		2				
量子情報研究グループ			2				
量子化磁束動力学シミュレーション研究グループ			1	2			2
強的秩序とその操作に関わる研究グループ				2			3
フォノンエンジニアリング研究グループ			1	3			3

ランダム系フォトエレクトロニクス研究会は活動終了

分科会誌, 論文誌の刊行予定

フォトニクス分科会	「フォトニクスニュース」の刊行
放射線分科会	「放射線」の刊行
応用電子物性分科会	「応用電子物性分科会誌」の刊行
薄膜・表面物理分科会	「NEWS LETTER」の刊行
結晶工学分科会	「Crystal Letters」の刊行
応用物理教育分科会	「応用物理教育」の刊行
超伝導分科会	「超伝導ニュース」の刊行
有機分子・バイオエレクトロニクス分科会	「Molecular Electronics and Bioelectronics」の刊行
プラズマエレクトロニクス分科会	「Plasma Electronics」の刊行
シリコンテクノロジー分科会	「シリコンテクノロジー」の刊行
先進パワー半導体分科会	「先進パワー半導体分科会誌」の刊行